

団 体 名	NPO法人 環境生態工学研究所	
代 表 者	理事長 須藤 隆一	
所 在 地	宮城県仙台市若林区新寺 1-5-26-104	
事 業 内 容	<p>「震災被害を受けた松島湾の環境再生活動ー里海・海藻の森の再生へー」</p> <p>1. 目的 東日本大震災の津波被害による影響は陸域の家屋やインフラ被害にとどまらず、沿岸域の海域環境にも多大な爪痕を残している。特に、松島湾など閉鎖性水域の藻場や干潟は、水質や底質の変化のみならず水深など物理的形狀にも大きな変化が認められ、生態学的な攪乱状態が継続している。</p> <p>これら沿岸域の藻場や干潟の生態学的攪乱は、自然浄化能の低下など直接、環境に悪影響を及ぼすばかりでなく、生物生産の低下に伴う水産業の復興の遅れなど社会生活にも多大な影響を及ぼすことが懸念されるものである。</p> <p>従って藻場や干潟の早期の回復・再生は、環境生態学的にも、地域社会復興のためにも必要不可欠なものであると考えられる。</p> <p>本活動は、地域住民との協働により、宮城県松島町手樽地先地区をモデルケースとして被災後の復興のためにアマモを移植することにより、里海・海藻の森の再生を目的とする。</p> <p>2. 内容 活動は松島町手樽公園地先地区を対象として実施する。手樽公園地先地区は、震災・津波以前には干潟や藻場が存在している身近な自然であったが、壊滅的な打撃を受け豊かであったアマモ場等がほぼ消失してしまった地域である。この地域をモデルとして、人間と自然が共生できる環境(干潟、藻場等)の再生と創造を行うために、アマモの移植を実施するものである。</p> <p>本活動が求めている最終的な姿は、いわゆる海洋(大自然)と人間が生活する都市との中間に位置する沿岸海域に成立する地域であり、人間と自然が共生できる環境(干潟、藻場等)【以下、“里海・海藻の森”と呼称する。】の再生と創造をイメージしている。</p> <p>3. 活動計画 (1) アマモ移植活動への参加者 本活動は、特定非営利活動法人 環境生態工学研究所(以下、E-TEC と略す。)が主催し、松島町の地域住民及び E-TEC 会員等が約 30 名程度参加を予定している。</p> <p>(2) 活動時期及び回数 現地における活動時期は、アマモの移植適期である平成 26 年 5 月(3 日間)に実施する。</p> <p>(3) アマモの移植面積 アマモは、松島湾の桂島のアマモ場から 160 株採取し、手樽公園地先地区に移植する。</p>	<p>(4) アマモの移植方法 アマモの移植方法及び手順は以下に示すとおりである。</p> <p>1) 母草採取用の濃密な残存アマモ場を探索。生育状況を把握。</p> <p>2) 良質な株を選択して、間引き採取。株の見分け方、間引き度合いなど高度な経験を要するダイバー作業。</p> <p>3) 採取したアカモクの母草の地下茎と葉部の健全さを確認。</p> <p>4) 地下茎を傷つけないように支柱にセット。</p> <p>5) ダイバー作業で植え付け。</p> <p>4. 活動による効果 里海・海藻の森の再生は、多様な生態系の起点になることが予想されるので、それらを環境学習や研究の場として提供し、藻場再生事業の重要性を広報する場として活用する。</p>
事業実施期間	平成 26.5 ~ 26.10	
事業実施場所	宮城県宮城郡松島町	
事業総額	276,500円	
助成金額	138,250円	

団 体 名	快適な生活環境を守る会	加藤学園高等学校 化学部
代 表 者	松本 明弘	海野 徑
所 在 地	静岡県藤枝市稲川 440-3	静岡県沼津市大岡自由が丘 1 9 7 9
事 業 内 容	<p>小学生を対象とした「水環境教育」、「浄化槽普及啓発」事業の実施</p> <p>1. 目的 小学校に出向き、4年生児童を対象とした水についての環境教育を計画しました。一般家庭で使われた水はどのようにして川に流され、自然へと返っていくかという水環境についての知識を習得し、水の大切さを学んでもらうことを目的とします。</p> <p>2. 事業趣意 世界の人口が急激に増えたことや、人々の生活水準が向上することにより水の使用量が増加してきました。地球上のあちこちで水不足を原因とするさまざまな問題が起きています。 また、工業廃水・農業廃水・生活廃水等が汚れたまま川に流れ込んだり、地下に浸透することにより水質の汚染も心配されています。 今、私たちは水の【量と質】の両方の問題を解決していかなければなりません。 そこで静岡県浄化槽協会志太榛原支部の維持管理委員会では、平成25年度の事業計画のなかで【小学生児童対象の水環境教育の積極的な推進】を実践するため島田市内の小学4年生児童を対象に、環境教室【水はめぐる】と題した授業を開催したいと思います。 普段、何気なく使っている【水】の貴重さ・大切さを知ってもらうとともに、自然の中で循環し、また自分達のところに戻ってくる仕組みを知ってもらう。 そして、使った【水】をきれいにして自然に返す意義について学んでもらう。 このようなことを児童たちにわかりやすく、興味を持てるよう工夫をしながら授業を行いたいと思います。</p> <p>3. 内容 (1) 水の学習コーナー (2) 浄化槽のミニチュアモデルコーナー (3) 小型合併処理浄化槽の実物大カットモデルコーナー (4) 浄化槽ビデオコーナー (5) 浄化槽カルタ大会</p>	<p>河川の水質調査と水質浄化のための無機材料の開発</p> <p>1. 水質調査 沼津市の主要12河川について、生活排水に関わる有機汚濁・窒素とリン関連イオンの分析。</p> <p>2. 水処理材 産業廃棄物を利用した無機材料(生活排水処理材)を開発し、その効果を検証する。</p> <p>3. 水辺の写真コンクール 水は生命の源泉である。身近な自然環境を大切にするため、第18回の水辺の写真コンクールを実施する。</p> <p>応募資格 加藤学園高等学校関係者(生徒、保護者、教職員) 写 真 未発表の作品 サイズ:Lサイズ、2Lサイズ、A4、A3、半切、全紙など自由 種 類:カラー、白黒どちらも可。デジカメデータ可。ただしスライドは不可。 締め切り 5月31日(金) 応 募 先 化学部部长 勝又綾香(PⅢ5) 副部长 鈴木美那(PⅢ2) その他、化学部部員へ(化学室) 内 容 河川、海、湖の風景。海水浴、釣り、水遊びなど水と人との関わり。(水辺の写真であれば何でもかまいません) 審 査 加藤学園高等学校化学部 水辺の写真コンクール実行委員会 審査結果の発表 6月2日(日) 暁野祭化学部展示会場(化学室) 賞 品 最優秀賞 賞状 副賞:オリンパスデジカメ(5倍ズーム・タッチパネル) 優 秀 賞 賞状 副賞:スタジオマリオ撮影+4切台紙付1枚 入 選 賞状 副賞:フォトブック1冊作成 半額券 参 加 賞 全参加作品 賞状 副賞</p>
事業実施期間	26.6 ~ 26.10 (8月は除く) 月2日4校(午前・午後)実施予定	平成 26. 4. 1~27. 3. 31
事業実施場所	<p>【牧之原市実施予定校】9校 ①学校組合立牧之原小学校 児童24名 ②牧之原市立川崎小学校 児童87名 ③牧之原市立細江小学校 児童76名 ④牧之原市立勝間田小学校 児童18名 ⑤牧之原市立坂部小学校 児童18名 ⑥牧之原市相良小学校 児童90名 ⑦牧之原市片浜小学校 児童8名(4・5年生複式学級) ⑧牧之原市菅山小学校 児童19名 ⑨牧之原市地頭方小学校 児童29名</p> <p>【島田市実施予定校】6校 ①島田市立川根小学校 児童31名 ②島田市立金谷小学校 児童98名 ③島田市立五和小学校 児童71名 ④島田市立初倉小学校 児童61名 ⑤島田市立六合東小学校 児童82名 ⑥島田市立第三小学校 児童36名</p> <p>【川根本町実施予定校】現在調査中</p>	加藤学園高等学校
事業総額	571,172円	425,900円
助成金額	200,000円	200,000円

(一社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 26 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	上林川を美しくする会	全国水源の里連絡協議会
代 表 者	会長 岸本 章三	会長・綾部市長 山崎 善也
所 在 地	京都府綾部市野田町須知山 110-10	京都府綾部市八津合町上荒木 5 番地
事 業 内 容	<p>上林川を調べて・知って、守り育てる活動事業</p> <p>1. 目的 京都府内有数の清流として知られている上林川は、近年生活排水の流入などにより、水質の悪化を懸念されている。「上林川を美しくする会」は、上林川流域の住民、市民、行政の協働により設立され、上林川に清流をよみがえらせ、次世代に引き継ぐことを目的とし、継続して活動を実施している。</p> <p>2. 内容 ①上林川の水質等の調査分析、水生生物の調査を実施し、上林川の現在の状態を把握する。 ②一般市民の協力、参加も得て、上林川流域のヨシ刈り作業や清掃活動を実施することにより、上林川の景観の美化を図る。 ③会報等で積極的に上林川の情報を発信するとともに、水環境保全の啓発を行う。</p>	<p>情報誌「水の源」発行事業</p> <p>1. 目的 「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念のもと、水源の里地域における振興と水環境等の保全に取り組む全国の自治体が連携し、水源の里振興の理念を国民運動として広げていく。</p> <p>2. 内容 森林や水環境保全に大きな役割を果たす水源の里地域の情報発信、交流、連携を図るため、情報誌を発行する。</p> <p>※名 称 「水の源」 (みずのみなもと)</p> <p>※目 的 ①水源の里の理念を全国に展開していく。 ②集落の情報を全国に発信していく。 ③下流(都市部)の皆さんの理解と協力を求めるとともに、交流を推進する。</p> <p>※発 刊 年 4 回</p> <p>※部 数 3,000 部/回</p>
事業実施期間	平成 26.5 ~ 27.3.31	平成 26.8 ~ 27.3
事業実施場所	綾部市市内	全国
事業総額	750,800円	1,305,000円
助成金額	200,000円	200,000円

団 体 名	特定非営利活動法人 有明会
代 表 者	代表 工藤 徹
所 在 地	福岡県柳川市城隅町 1 8 - 9
事 業 内 容	<p>水生植物の水上栽培</p> <p>事業内容 水郷柳川の掘割に縣和一前九州大学教授考案のイカダ（塩ビパイプとネットで構成）を浮かべ、活動前半に水上栽培可能な野菜を育て、野菜収穫後の後半には景観を彩り目を楽しませる花を育てる。最初に野菜を育てるのは、食べられる水生植物を通じて参加する住民に身近な掘割の水質により強い関心を持ってもらうため。観賞用の花を栽培するのは掘割景観を整え、観光客や散歩で通る住民に道路や掘割へのゴミのポイ捨てなどをさせないために心理的に良心のブレーキをかけるために行うものである。</p>
事業実施期間	平成 26. 6 ~ 26. 11
事業実施場所	川下りコースを中心とした柳川市内掘割
事業総額	1 8 9 , 0 0 0 円
助成金額	9 4 , 5 0 0 円

(一社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 26 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(公社) 北海道浄化槽協会	(公社) 宮城県生活環境事業協会
代 表 者	会長 丹羽 道正	会長 佐藤 佑
所 在 地	北海道札幌市豊平区平岸五条 7-7-10	宮城県仙台市宮城野区日の出町 2-5-15
事 業 内 容	<p>浄化槽啓発用ポスター及び標語の募集並びにポスターの制作</p> <p>道内在住の小・中学生を対象とした浄化槽に関する啓発用ポスターを募集するとともに、優秀作品を環境パネル展等で公表・掲示する。また、併せて標語についても、年齢制限をせずに募集する。</p> <p>入選したポスターの 4 作品及び標語の 1 作品については、啓発用のポスター及びクリアファイルとして作成し、広く道内の自治体や会員企業等を通して浄化槽の普及啓発を行う。</p> <p>なお、ポスター等募集にあたっては、浄化槽の説明資料を添付し、多くの道民に浄化槽を知る機会と参加を誘導する。</p>	<p>環境フェア等への参加にともなう普及啓発活動</p> <p>県内の市町村で開催される環境フェア、産業まつり等イベントに参加して、広く県民に浄化槽による水質保全の利点を啓発し、水辺の環境保全の必要性をアピールするもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 顕微鏡による微生物の観察 浄化槽カットモデル等による汚水処理および維持管理等 (DVD) の解説 ターポリン幕・パネルによる浄化槽や水質保全の解説 パンフレット等の配布を行う予定
事業実施期間	平成 26. 4. 1 ~ 27. 1. 30	平成 26. 9 ~ 平成 26. 11
事業実施場所	北海道庁 1 階ロビー	仙台市、登米市、大崎市等
事業総額	423,293円	647,784円
助成金額	200,000円	200,000円

団 体 名	(公社) 茨城県水質保全協会	(一社) 群馬県浄化槽協会
代 表 者	理事長 安斉 猛男	会長 小倉 喜八郎
所 在 地	茨城県水戸市吉沢町 650-1	群馬県前橋市大友町 2-29-21
事 業 内 容	<p>「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり 2014」「水戸市環境フェスタ 2014」「2014 環境展・消費生活展」開催に伴う浄化槽の啓蒙活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 浄化槽の模型展示 2. 浄化槽普及啓発パンフレットの配布 3. 浄化槽に関するパネル展示 4. 生活排水に関するクイズの実施 5. 水を汚さない為の工夫のチラシ配布 6. 浄化槽紙芝居の実演 	<p>身近な河川水質調査</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的 本調査は、地域住民の生活に身近な河川、水路等（以下、「身近な河川」という。）の水質を長期継続して測定することにより、浄化槽の設置推進が生活排水対策として効果的であり、公共用水域の水質の保全もしくは改善に寄与することを実証するために行う。 調査の結果は、「環境森林フェスティバル」及び「水よみがえれ！キャンペーン」等の場において発表する。 2. 内容 <ol style="list-style-type: none"> ①選定 <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽整備事業（「市町村設置型」・「個人設置型」）実施の市町村に関係する身近な河川を原則とし、当該市町村の整備計画等をあらかじめ把握し参考とする。 ・群馬県が環境白書に発表した環境基準未達成河川に流入する身近な河川を対象とする。 ・家庭雑排水等以外の汚染源（豚房、工場等）がある身近な河川は対象としない。 ②調査対象（身近な河川）の数 <ul style="list-style-type: none"> ・24以内（12地域 各2川） ③調査の方法等 <ul style="list-style-type: none"> ・採水箇所は、1河川につき、汚染に関する生活区域を想定（以下、「一定区域」という。）し、上流部下流部1箇所ずつとし、定点とする。 ・定点における採水及びその分析は、年1回とし、当面平成21年度より10年間継続する。 ・水質分析項目は、生物化学的酸素要求量（以下、「BOD」という。）とする。 ・採水は、「採水記録票」に必要事項を記入する。 ・当該一定区域内の浄化槽等（単独：合併：くみ取り）の設置状況の変化の把握に努める。 ・採水作業は、当該一定区域に関係する当協会の維持管理部会員もしくはその従業員が行う。 ④水質結果の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・環境基準値を参考とする。 ・群馬県環境白書に発表されている河川の水質結果を参考とする。 ⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> ・水質の分析は、計量証明事業場に委託して行う。 ・試料は直ちに保冷し分析機関に搬入する。
事業実施期間	平成 26. 8. 23、平成 26. 10. 5、平成 26. 11 月予定	平成 26. 7. 1 ～ 27. 2. 28
事業実施場所	霞ヶ浦環境科学センター、偕楽園公園、カシマススポーツスタジアム	群馬県内
事業総額	456,500円	429,600円
助成金額	200,000円	200,000円

7 (一社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 26 年度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(一社) 静岡県浄化槽協会	(一社) 兵庫県水質保全センター
代 表 者	理事長 加藤 敬規	会長 谷口 正
所 在 地	静岡県静岡市駿河区中田本町 2-10 A101	兵庫県神戸市中央区港島南町 3-3-8
事 業 内 容	<p>「静岡県住まい博 2014」出展に伴う浄化槽の普及啓発</p> <p>1. 目的 「静岡県住まい博 2014」を開催し、県民の皆様が豊かさを実感できる住生活の実現に向け最新で良質な幅広い情報を提供するとともに、住宅需要を喚起して住宅産業・住宅関連産業の振興を図っていきたいと考えております。 暮らし全般ブースに出展し、県民の皆様は浄化槽についての正しい知識を普及啓発することにより、県民の健康保護と水環境の保全を図る。</p> <p>2. 内容 (1) 小型合併処理浄化槽の実物大カットモデル及び浄化槽のミニチュアモデルの展示 (2) 浄化槽に関するパネルの展示 (3) 浄化槽普及啓発パンフレットの配布 (4) 浄化槽に関する相談コーナーの配置</p>	<p>環境教育・浄化槽普及啓発パンフレットの印刷</p> <p>中学生を対象に「生活排水」と「水の循環」をテーマとした河川での水質分析を行う環境教育を実施する。健全な水循環や公共用水域の水質保全に関して、各家庭等から河川への放流水が及ぼす影響を、調査検証することで浄化槽の普及を図る環境教育を行う。 また、浄化槽の管理者等を対象に浄化槽の適正な維持管理を推進するパンフレットを作成し、浄化槽管理者・行政・関係団体等に配布する他、イベント等で参加者に配布して浄化槽の普及啓発を図る。</p>
事業実施期間	平成 26.9.13 ~ 25.9.15	(環境教育) 平成 26.8、(パンフレット等) 平成 27 年春
事業実施場所	ツインメッセ静岡・南館	(環境教育) 洲本市及び加古川市の中学校それぞれ 1 校 計 2 校
事業総額	629,000円	200,000円
助成金額	200,000円	100,000円

団 体 名	(一社) 鳥取県浄化槽協会	(公社) 徳島県環境技術センター
代 表 者	会長 早瀬 一美	会長 大坂 利弘
所 在 地	鳥取県鳥取市松並町 2-160 城北ビル 303	徳島県徳島市津田海岸町 2-33
事 業 内 容	<p>中海環境フェアの参加</p> <p>1. 目的 中海の浄化を考える様々なグループの取り組みや成果を市民の皆さんにご覧頂き、中海再生プロジェクトの実施する環境の保全を図る事業に参加し、浄化槽について説明する。</p> <p>2. 内容 名称 中海環境フェア 主催 NPO法人中海再生プロジェクト 共催 鳥取県・中海テレビ放送 目的 中海の浄化に向け、より多くの市民に浄化槽について関心を持っていただき理解を深めていただく。 内容 各団体による中海の水質浄化を中心とした環境学習などの展示</p>	<p>「環境学習」、「浄化槽教室」の開催</p> <p>1. 目的 徳島県では、汚水処理人口普及率が全国最下位であり、浄化槽の法定検査の受検率も低いなど、県民の汚水処理・水環境に対する関心の低さが長年の課題となっている。 そこで、環境保全に対する意識改革を推進すべく、一方で未来を担う子供を対象に、水環境問題を親しみやすい形で提起（環境学習）することにより、より身近なものとして受け入れ、関心を持ってもらうことを目的とする。さらに子供から環境問題を発信することにより、環境に対する関心の環が大人へ広がることも狙いである。 もう一方では、浄化槽新規設置者に対し浄化槽の使用に関する法的な義務、使用上の注意等について浄化槽教室という形で説明し、維持管理作業の必要性を啓発する。 このように、一方で子供たちを通じて間接的に、もう一方では浄化槽使用者に対して直接的に啓発を行うことにより、より効果的に適正な維持管理の周知を図っている。</p> <p>2. 内容 ①環境学習 小学生・中学生を対象とした環境学習は、当法人の職員が学校へ出向き、環境学習プログラムを基本に、I) 汚水処理施設のしくみや、生活排水が河川等の汚濁の原因であることについて講義。II) 干潟生物による水質浄化・手づくりあめんぼうを使った実験を実施、学習する。 ②浄化槽教室 浄化槽の必要性・役割、維持管理作業及びその法的根拠、一括契約、正しい使用方法についてパンフレットを用い講師が説明し、最後に映像コンテンツ (DVD) を視聴する。</p>
事業実施期間	平成 26. 8	平成 26. 6～ 27. 3
事業実施場所	米子食品会館	徳島県内
事業総額	199,766円	425,420円
助成金額	99,883円	200,000円

(一社) 全国浄化槽団体連合会 「平成 26 度 水環境保全助成事業 (審査ベース)」

団 体 名	(一財) 福岡県浄化槽協会	(一社) 鹿児島県環境保全協会
代 表 者	理事長 三浦 正吏	会長 池畑 憲一
所 在 地	福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬 966-2	鹿児島県鹿児島市宇宿 2-9-9
事 業 内 容	<p>浄化槽シンポジウム福岡 2014 の開催</p> <p>事業内容 県民の環境意識の向上、地方自治体の財政の逼迫、迎えている少子高齢化等の社会状況の変化の中、それぞれの市町村に相応しい生活排水処理計画を構築するための一助とすべく、議会、行政及び浄化槽関係者等を対象にシンポジウムを開催するもの。</p>	<p>合併処理浄化槽設置推進のための啓発活動</p> <p>1. 目的 鹿児島県内の市町村（特に生活排水処理率の低い地域）で開催されるふるさと祭り等に浄化槽コーナーを設けて出展し、地域住民に対して浄化槽の普及啓発活動を行う。</p> <p>2. 内容 ・浄化槽のカットモデルや生活排水対策に関するパネル展示 ・浄化槽設置推進に関するリーフレットの配布 ・浄化槽に関するクイズの実施 ・浄化槽に関する相談対応</p>
事業実施期間	平成 26. 10. 31	平成 26. 10. 1～ 26. 12. 31
事業実施場所	博多サンヒルズホテル	鹿児島県内の 4 市町村
事業総額	1, 216, 600円	558, 770円
助成金額	200, 000円	200, 000円